

技術資料 4

圧力センサーオイル

補充の手順

株式会社イーエムエス

株式会社 イーエムエス

本社：神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号 神戸ハーバーランドセンタービル13F TEL:078-371-3631 FAX:078-371-5077
東京支店：東京都千代田区岩本町1丁目8番15号 岩本町喜多ビル5F TEL:03-5820-0799 FAX:03-5820-1728
技術部：東京都中央区日本橋小伝馬町9-2 石田ビル1階 TEL:03-3668-0801 FAX:03-3668-0802

～水圧センサーオイル補充の手順～

圧力センサーオイル補充キット

圧力センサーポート内のオイルが抜けると、海水がポート内に浸入し圧力センサー本体が腐食してしまい修理が必要な場合が発生します。圧力センサーポート内のオイルが抜けた場合、専用のオイルを補充しなければなりません。

☆作業手順

1. CTD 本体を逆さまにして、圧力センサーが上を向くようにします。

SBE19plus (左図)：マイナスイドライバーで圧力センサーポートキャップを反時計回りに回し外します。

SBE9plus (右図)：9/16 インチスパナで圧力センサーポートフィッティングを反時計回りに回し外します。

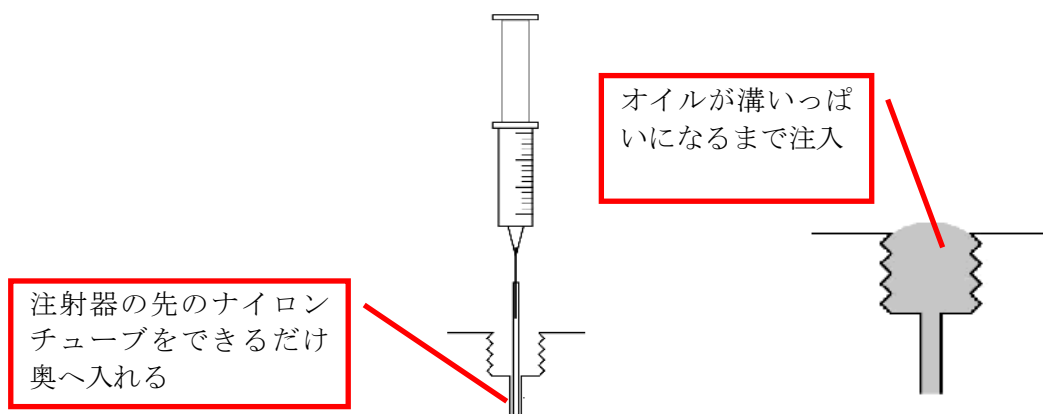


SBE19plus (SBE39)



SBE9plus

2. 次に、補充キット内付属品の注射器の中に付属品のシリコンオイル(Dow Corning DC-200 oil :粘度 200 センチストローク)を入れた後、注射器中の空気を抜くために注射器の針を上にしてプランジャーを少し押し出し空気を抜きます。次にキャップを抜き取った溝の奥の小さな穴に、注射器の先のナイロンチューブをできるだけ奥へ入れ、オイルが溝いっぱいになるまで注入します。



パイプ内及び溝の中の空気抜きのため、手で CTD 本体を軽く叩いて下さい。次に取りはずしたキャップまたはフィッティングを元通りに取り付けます。この時ポート口からシリコンオイルがあふれ出るのでキムワイブ等で拭取って下さい。最後にキャップ周りの溢れたオイルを全て拭取れば作業終了です。